



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 下山 政行

TEL 03-6731-5841

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	121,215	2.3	16,543	△2.0	16,296	△17.9	16,761	35.1
27年3月期第3四半期	118,450	△0.0	16,874	△7.5	19,839	△5.1	12,402	△7.4

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 20,152百万円 (△4.5%) 27年3月期第3四半期 21,101百万円 (1.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	92.59	92.56
27年3月期第3四半期	68.44	68.43

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	290,129		211,548		68.9	
27年3月期	265,126		199,680		70.4	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 199,754百万円 27年3月期 186,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
28年3月期	—	12.50	—		
28年3月期(予想)				12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	3.2	23,000	3.1	22,000	△12.6	16,000	2.2	88.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	182,503,570 株	27年3月期	182,503,570 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,778,091 株	27年3月期	1,309,888 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	181,024,972 株	27年3月期3Q	181,210,581 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）の世界経済は、米国では緩やかな回復が続いており、欧州では地政学的リスクなど懸念はあるものの全体として緩やかな回復が見られました。中国では成長のペースが鈍化しました。日本経済は個人消費に底堅い動きが見られるなど緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループは平成25年度よりスタートさせました中期事業計画“*Challenge 100A!*”の成長シナリオと中長期重点課題に取り組み、重点事業への経営資源の最適配分、既存事業の用途拡大、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業が前年同四半期を下回りましたが、医薬事業、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回ったことにより、1,212億1千5百万円と前年同四半期に比べ27億6千5百万円（2.3%）増加しました。

営業利益は、165億4千3百万円と前年同四半期に比べ3億3千万円（2.0%）減少しました。

経常利益は、為替差損などにより162億9千6百万円となり、前年同四半期に比べ35億4千3百万円（17.9%）減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益により167億6千1百万円と前年同四半期に比べ43億5千9百万円（35.1%）増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

**【機能化学品事業】**

売上高は511億2千7百万円と前年同四半期に比べ19億8百万円（3.6%）減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂、液晶シール材の低調が続きましたが、タッチパネル用接着剤が伸長し、機能性材料事業全体で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、インクジェットプリンタ用色素、機能性色素は前年同四半期を上回りましたが、紙用染料、感熱紙用材料の感熱顔色剤は前年同四半期を下回りました。色素材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒およびメタクリル酸製造用触媒の出荷が低調で、前年同四半期を下回りました。

ポラテクノグループは、液晶ディスプレイ用部材の温度追従型楕円偏光フィルムの販売が低調で、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は46億5千万円と前年同四半期に比べ16億9千6百万円（26.7%）減少しました。

**【医薬事業】**

売上高は381億9千6百万円と前年同四半期に比べ6億4千6百万円（1.7%）増加しました。

国内向け製剤は、「フィルグラスチムBS注」（がん化学療法支持療法薬）、「パクリタキセル注NK」（抗がん薬）、「カルセド注」（抗がん薬）が伸長しました。一方、「オダイン錠」（抗がん薬）、「ヘパスフィア」（血管内塞栓材）が前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では、「インフリキシマブBS点滴静注用」（抗体薬）、「ドセタキセル点滴静注」（抗がん薬）、「オキサリプラチン点滴静注液」（抗がん薬）等の新製品も寄与し、前年同四半期を上回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん薬）が前年同四半期を上回り、エトボシド類（抗がん薬）が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を下回りました。

診断薬は、糖尿病診断薬が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は65億4千9百万円と前年同四半期に比べ8億5千9百万円（15.1%）増加しました。

### 【セイフティシステムズ事業】

売上高は262億7千8百万円と前年同四半期に比べ39億1百万円(17.4%)増加しました。

国内事業は消費税増税前需要増の反動があった前同四半期に比べ堅調に推移し、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ共に前年同四半期を上回りました。

海外事業は北米・欧州市場が堅調だったことに加え、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ及びスクイブはそれぞれ前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は50億1千9百万円と前年同四半期に比べ5億9千万円(13.3%)増加しました。

### 【その他】

売上高は56億1千3百万円と前年同四半期に比べ1億2千5百万円(2.3%)増加しました。

アグロ事業は、国内が前年同四半期を下回り、輸出は前年同四半期を上回りました。アグロ事業全体では前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は、前年同四半期並みとなりました。

セグメント利益は5億9千7百万円と前年同四半期に比べ1億4千3百万円(19.3%)減少しました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,901億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ250億2百万円増加しました。主な増加はたな卸資産111億8百万円、現金及び預金75億4千9百万円、投資有価証券53億2千4百万円、有価証券31億7千7百万円であり、主な減少は前渡金(流動資産その他を含む)28億6千8百万円であります。

負債は785億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ131億3千5百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金48億6百万円、長期借入金44億3千3百万円、繰延税金負債(固定負債その他を含む)29億4千1百万円、短期借入金20億3千万円であり、主な減少は未払金12億6千5百万円であります。

純資産は2,115億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ118億6千7百万円増加しました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益167億6千1百万円、その他有価証券評価差額金35億2千9百万円であり、主な減少は配当金の支払45億2千9百万円、自己株式の取得19億7千6百万円、非支配株主持分12億2千8百万円、為替換算調整勘定8億8千万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移し、中国では金融市場の動向などの影響による下振れが懸念されます。日本経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復することが期待されます。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成27年11月5日に公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業  
分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第  
1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金  
として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、  
第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額  
の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、  
四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更  
を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表  
の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業  
分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来  
にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利  
益は342百万円減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が269百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,099	43,649
受取手形及び売掛金	51,600	52,296
電子記録債権	807	1,043
有価証券	7,412	10,589
商品及び製品	24,131	23,161
仕掛品	1,987	1,850
原材料及び貯蔵品	9,258	21,474
その他	10,017	7,474
貸倒引当金	△32	△35
流動資産合計	141,282	161,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,055	38,568
機械装置及び運搬具（純額）	20,658	21,876
その他（純額）	22,863	20,394
有形固定資産合計	81,576	80,839
無形固定資産		
のれん	281	157
その他	2,369	2,158
無形固定資産合計	2,650	2,316
投資その他の資産		
投資有価証券	33,631	38,956
退職給付に係る資産	4,049	4,546
その他	1,821	1,864
貸倒引当金	△84	△42
投資その他の資産合計	39,418	45,324
固定資産合計	123,646	128,481
繰延資産	198	143
資産合計	265,126	290,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,060	17,867
短期借入金	5,409	7,440
未払金	10,762	9,496
未払法人税等	1,724	2,293
関係会社整理損失引当金	431	—
その他	7,525	8,190
流動負債合計	38,915	45,288
固定負債		
長期借入金	9,518	13,952
退職給付に係る負債	358	359
負ののれん	0	—
その他	16,652	18,981
固定負債合計	26,530	33,292
負債合計	65,445	78,581
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,535
利益剰余金	139,457	151,689
自己株式	△938	△2,914
株主資本合計	170,717	181,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,460	14,989
為替換算調整勘定	4,336	3,455
退職給付に係る調整累計額	145	66
その他の包括利益累計額合計	15,941	18,511
非支配株主持分	13,021	11,793
純資産合計	199,680	211,548
負債純資産合計	265,126	290,129



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	118,450	121,215
売上原価	68,339	71,329
売上総利益	50,111	49,886
販売費及び一般管理費	33,237	33,342
営業利益	16,874	16,543
営業外収益		
受取利息	46	37
受取配当金	429	484
負ののれん償却額	61	0
持分法による投資利益	192	334
為替差益	2,055	—
その他	695	801
営業外収益合計	3,482	1,658
営業外費用		
支払利息	140	127
為替差損	—	1,455
その他	376	323
営業外費用合計	517	1,905
経常利益	19,839	16,296
特別利益		
固定資産売却益	3	9,146
関係会社株式売却益	—	51
開発成果譲渡益	200	—
特別利益合計	203	9,198
特別損失		
固定資産処分損	373	885
環境対策費用	126	—
特別損失合計	499	885
税金等調整前四半期純利益	19,543	24,609
法人税、住民税及び事業税	4,759	5,510
法人税等調整額	1,179	1,437
法人税等合計	5,939	6,948
四半期純利益	13,603	17,661
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,200	899
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,402	16,761

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	13,603	17,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,290	3,529
為替換算調整勘定	4,164	△966
退職給付に係る調整額	44	△73
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	1
その他の包括利益合計	7,497	2,490
四半期包括利益	21,101	20,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,267	19,331
非支配株主に係る四半期包括利益	1,833	820

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,036	37,549	22,376	112,962	5,488	118,450	—	118,450
セグメント間の内部売上 高又は振替高	123	0	—	123	90	213	△213	—
計	53,159	37,549	22,376	113,085	5,578	118,664	△213	118,450
セグメント利益	6,346	5,689	4,428	16,464	740	17,204	△330	16,874

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△330百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△353百万円、セグメント間取引消去22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,127	38,196	26,278	115,602	5,613	121,215	—	121,215
セグメント間の内部売上 高又は振替高	143	0	—	143	104	248	△248	—
計	51,270	38,196	26,278	115,745	5,718	121,463	△248	121,215
セグメント利益	4,650	6,549	5,019	16,218	597	16,815	△272	16,543

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△272百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円、セグメント間取引消去18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。